

2020年5月22日

各位

会社名 日本板硝子株式会社
 コード番号 5202
 本社所在地 東京都港区三田三丁目5番27号
 代表者 森 重樹
 問合せ先 IR部長 西江 佐千由
 電話 03-5443-0100

個別開示項目費用の計上および通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第4四半期において個別開示項目費用の計上を行いました。また、2020年1月30日に公表した2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想（通期）と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせします。

記

I. 個別開示項目費用の計上について

当社は、現在の事業環境を踏まえて国際会計基準(IFRS)に基づく減損テストを実施しました。自動車用ガラス事業の資金生成単位において、2020年3月期において欧州を中心とした自動車生産台数減少に加えて、同期第4四半期以降は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大に伴い更なる減速が見られたことを反映し、欧州およびその他の地域における、のれんおよび無形資産の減損損失（約117億円）を計上しました。

II. 2020年3月期の連結業績予想数値と実績値との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

1. 差異の内容

(百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益(注)
前回発表予想(A)	560,000	21,000	3,000	△2,000	△3,000	△60円17銭
実績値(B)	556,178	21,177	△13,549	△17,518	△18,925	△235円96銭
増減額(B-A)	△3,822	177	△16,549	△15,518	△15,925	△175円79銭
増減率(%)	△0.7%	0.8%	-	-	-	-
参考：前期実績	612,789	36,855	22,730	14,378	13,287	115円16銭

(注) 基本的1株当たりの当期利益については、A種種類株式にかかる配当金及び金銭償還プレミアムの影響を考慮した数値を記載しています。

2. 差異の理由

上記Iに記載する個別開示項目費用の計上（約117億円）に加えて、①2020年3月31日に公表した「個別開示項目費用の計上および配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の固定資産減損等（約44億円）の計上、および②第4四半期における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による設備休止に係る費用の個別開示項目への計上により、税引前利益、当期利益、および親会社所有者に帰属する当期利益がそれぞれ減少しました。

(注) 上述の業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市況、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

以上